

2020年9月14日

外来リハビリテーション再開のお知らせ

国立病院機構南京都病院では、2020年7月より、神経難病^(*)患者さんを対象とした外来リハビリテーションを再開致しました。日常生活動作能力の維持・改善を目的とした運動療法だけでなく、嚥下障害に対する摂食嚥下機能評価と指導・訓練にも対応が可能です。

リハビリテーションの実施にあたり、新型コロナウイルス感染症対策として、リハビリテーション科スタッフは標準予防策を遵守し、ソーシャルディスタンスの確保とリハビリテーション室の換気にも努めています。患者さんには日々の体温、症状の有無、ご家族等同居者の体調を体調確認表に記録していただき、毎回確認させていただきます。新型コロナウイルス感染対策をされた上で、お気をつけてご来院下さい。

リハビリテーションを希望される対象患者さんがいらっしゃいましたら、南京都病院地域連携室までお問い合わせ下さい。

国立病院機構南京都病院
病院長 坪井知正

(*)対象となる主な疾患

- ・パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病）
- ・多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群）
- ・脊髄小脳変性症
- ・筋萎縮性側索硬化症
- ・ハンチントン病
- ・プリオン病
- ・多発性硬化症
- ・重症筋無力症
- ・ギラン・バレー症候群
- ・慢性炎症性脱髄性多発神経炎
- ・強皮症、皮膚筋炎及び多発筋炎